

校内研修計画

甲州市立大和小学校

1 学校課題

大和地区は自然に恵まれており、周囲を山に囲まれた静かな地域である。地域の中央を高速道路が走り、幹線道路も交通量が増加し春や秋など観光客が多数訪れ、賑わいを見せる。大和町は武田家終焉の地としても知られており、多くの史跡が点在する古い歴史を持つ町である。

本校は、児童数が少ないため人間関係も固定されがちであり、多様な意見や価値観に触れる機会が少ない。決まったことや指示されたことに一生懸命に取り組むことはできるものの受け身になりがちで、自ら考え、主体的に取り組もうとする姿勢は十分だとは言えない。また、学校を離れ地域に帰ると、同年代がほとんどいない状態となる児童も多い。そのためか、人との関わり方や円滑なコミュニケーションがとれない児童も見られる。そこで、様々な機会を捉え、児童会の集会活動での縦割り活動や低中高学年の合同体育などを通して、人間関係を築く能力や社会性を育み、異年齢集団の中で友に助け合うことができる環境作りを進めている。

2 研究主題 「学び合い高め合い意欲的に学ぶ児童の育成」

～ 伝え合い交流する ～

3 主題設定の理由

本校では、各教科等において「伝え合い交流する」場面を設定し、言語活動の充実を図る中で、思考力や表現力の向上を目指し、研究を進めてきた。昨年度は、「考える場」「伝えあう場」の中で「伝え合い交流する」ことをより充実させるための手立てを工夫した授業作りを行った。その結果、子どもたちの中に自分の思いを伝えるだけでなく、相手の意見を聞くことにも意識が持てるようになり学習に深まりがみられた。しかし、伝えることはできるが、友達の意見を聞いてそれに関わった発言をしたり、話し合ったりして、考えを交流することには課題がみられた。そこで今年度は、昨年度までの研究を継続し、自分の考えや想いを伝えるだけでなく、相手の考えと比べる、関連した質問や意見を出し合うなど、「伝え合い交流する」ことをより充実させるための手立てを工夫し、学び合い高め合い意欲的に学ぶ児童の育成につなげていきたい。

また、お互いに認め合い意欲的に学び合える学習集団をつくるために2回のQ-Uアンケートの結果を分析した。その結果、全職員での共通理解のもと、課題を持つ児童に適切な関わりを持つことができ、見つかった課題に早急に対応することができた。学習規律についても、定着をみるためにアンケートを行い、定着が不十分なところや、課題を明らかにすることができた。今年度、より良い学級集団をつくるために、Q-Uの結果を活用し、学習規律を定着させていくための継続的な指導にも取り組んでいきたい。

家庭と連携した学習環境作りについては、自主学習のアンケートの実施や、学年部会等での話し合いを行った。宿題については、毎日するものだという意識が定着してきているが、自主学習の取り組みについては個人差が見られた。今年度は、自主学習の内容や意欲など個人差への対応や取り組み方などについて研究を深めていきたい。また、「家庭教育・子育て」Q&Aを活用し、

家庭での学習について、保護者の理解や連携を深めていくことにも取り組んでいきたい。

自分の考えを持ち、意見交換を通じて考えを深めることができる子ども

高学年	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えの根拠や理由等を論理的に表現することができる。 自分の考えと友達の意見の違いをとらえ、お互いの立場や意図をはっきりさせながら、話し合うことができる。
中学年	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを説明するときには、意見と根拠、原因と結果など明らかにすることができる。 友達の意見を聞き、共通点や相違点を整理し、話し合うことができる。
低学年	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを持ち、どうしてそう考えたのか理由を説明できる。 友達の意見を最後まで聞き、いろいろな意見があることに気付くことができる。

年間校内研修計画

研究主任 新海 小緒里

研究テーマ	教科領域	担当	学年	授業時期	T・C 要請
学び合い高め合い 意欲的に学ぶ児童の育成 ～伝え合い交流する～	道徳	田邊 博幸	5年	10月	○
	未定	鈴木 奈津美 新海 小緒里 井上 甲斐 広瀬 早理 飯室 美華 小野 紀男	1年 2年 3年 4年 6年 ひまわり	7月 から 11月	